

NOSTER

日本農芸化学会2024年度大会
Noster株式会社ランチョンセミナー多様性と
のびやかなつながり

腸内細菌が紡ぐ健康

日時

2024年 **3月25日(月)** 12時35分~13時25分まで **C1**

会場

座長・総論

小川 順 教授

[京都大学大学院 農学研究科]

演題

1. 腸脳相関:運動意欲における腸内細菌の役割

演者/Dr. Christoph A. Thaiss [University of Pennsylvania]

2. 腸内細菌脂質代謝物と代謝性肝疾患

演者/細岡 哲也 准教授 [静岡県立大学薬食生命科学総合学府]

腸脳相関という言葉がテレビから聞こえてくるようになったように、腸と他臓器との関連性が様々に見だされ、認知されてきています。このような腸を中心とする臓器間ののびやかなつながりが、我々の健康、生命の営みを支えています。つながりは、多岐にわたるが故に、変化に対する恒常性を提供できる可能性があります。

そして、この頼もしい複雑性をもたらしているのが、腸内細菌やその代謝物の多様性と言えます。次々と現れる変化に対応できる役者たちが、満を持して待機しているからです。

そのからくりが、さまざまな生命現象において、少しずつ理解されつつあります。見いだされてきたつながりは、多様な腸内細菌叢の変化と、それに伴う代謝物の消長に導かれ、その姿は、まるで万華鏡のごときイベントとして提示されます。

本セミナーでは、「腸内細菌叢-代謝物-恒常性」という多様性がもたらすのびやかなつながりをあぶりだした最新の研究を、運動や代謝改善といった表現形を例にご紹介いただき、皆さんとともに腸内細菌が紡ぐ健康に思いをはせたいと考えています。